

資料2-2 1年生簿記・各単元のルーブリック

「現金・現金過不足・現金出納帳」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
現金・現金出納帳を理解する 知識、理解(知識・技能)	現金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	現金出納帳を作成できる。	小切手・送金小切手・配当金領収証の処理ができる。	
現金過不足を理解する 知識、理解(知識・技能)	現金の帳簿残高と手元有高が不一致のときの処理ができる。	不一致の原因が判明したときの処理ができる。	決算時の処理ができる。	

「当座預金・当座借越・その他の預貯金」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
当座預金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	当座預金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	小切手の受取・振出の処理ができる。	自己振出小切手の受け取りの処理ができる。	
当座借越を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	当座借越勘定は、負債であることを知っていて、増加は貸方、減少は借方に記帳することを理解している。	当座借越になった際の処理ができる。	当座借越が解消された際の処理ができる。一勘定制の処理ができる。	
当座預金出納帳を作成できる 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	当座借越にならない出納帳を作成できる。	当座借越になる出納帳を作成できる。	s	
その他の預貯金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	当座預金以外の預金を知っている。	当座預金以外の預金を発表できる。	複数の口座を開設している場合の処理ができる。	

「小口現金」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
小口現金を理解する 知識、理解(知識・技能)	小口現金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	定額資金前渡法を導入したときの仕訳ができる。	支払報告の仕訳ができる。(補給の仕訳ができる。)	
小口現金出納帳の作成 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	内訳の記入ができる。	締切ることができる。	小口現金出納帳の記入から仕訳を導くことができる。	

「三分法」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
仕入について理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	仕入勘定は費用であることを知っていて、発生は借方、消滅は貸方に記帳することを理解している。	値引、返品処理ができる。	付随費用を仕入に含めることを知っていて、その理由を説明できる。先方負担の引取費用の処理ができる。	
売上について理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	売上勘定は収益であることを知っていて、発生は貸方、消滅は借方に記帳することを理解している。	値引、返品処理ができる。	発送費の自己負担と先方負担の処理ができる。	
売上原価を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	仕入と売上原価の違いを理解できる。	売上原価を仕入勘定で算出するための仕訳ができる。売上総利益を算出することができる。	売上原価を売上原価勘定で算出するための仕訳ができる。売上原価の算出方法を知っていて、説明できる。	

「仕入帳・売上帳」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
仕入帳の作成 知識、理解(知識・技能)	内訳欄、値引・返品品の記入ができる。	引取費用の記入ができる。	締切ることができる。	
売上帳の作成 知識、理解(知識・技能) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	内訳欄、値引・返品品の記入ができる。	締切ることができる。	発送費用は記入しないことを理解していて、引取費用との違いを説明することができる。	

「商品有高帳」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
先入先出法による商品有高帳の作成 知識、理解(知識・技能)	受入欄、残高欄の記入ができる。	払出欄の記入ができる。	締切、開始記入ができる。	
移動平均法による商品有高帳の作成 知識、理解(知識・技能)	受入欄、残高欄の記入ができる。	払出欄の記入ができる。	締切、開始記入ができる。	
値引・返品のある商品有高帳の作成 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	仕入戻し・売上戻りの処理ができる。	仕入値引・売上値引の処理ができる。	値引・返品品の処理の説明ができる。	
その他 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	仕入帳・売上帳から商品有高帳を作成できる。	売上総利益の算出ができる。	引取費用がある場合の記帳ができる。	

「売掛金・買掛金」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
売掛金を理解する 知識、理解(知識・技能) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	売掛金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	売掛金勘定と売掛金元帳の関係を説明できる。	先方負担の発送費の処理ができる。	
買掛金を理解する 知識、理解(知識・技能) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	買掛金勘定は負債であることを知っていて、増加は貸方、減少は借方に記帳することを理解している。	買掛金勘定と買掛金元帳の関係を説明できる。	先方負担の引取費の処理ができる。	

「貸し倒れ」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
貸し倒れについて理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力) 学びに向かう力、人間力(主体的に学習に取り組む態度)	貸し倒れとは、どういうことか理解し、説明できる。	貸倒損失勘定は費用であることを知っていて、発生は借方、消滅は貸方に記帳することを理解している。	貸し倒れの可能性のある資産を調べることができる。	
貸し倒れの見積もりについて理解する 知識、理解(知識・技能)	貸し倒れの見積もりの必要性を理解し、説明できる。	決算時の処理ができる。(差額補充法)	貸し倒れ時の処理ができる。	

「手形」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
受取手形についての理解 知識、理解(知識・技能)	受取手形勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	約束手形を受け取ったときの処理ができる。	期日に手形金額の入金があったときの処理ができる。	
支払手形についての理解 知識、理解(知識・技能)	支払手形勘定は、負債であることを知っていて、増加は貸方、減少は借方に記帳することを理解している。	約束手形を振り出したときの処理ができる。	期日に手形金額が支払われたときの処理ができる。	
電子記録債権についての理解 知識、理解(知識・技能)	電子記録債権勘定は資産であることを知っていて、発生は借方、消滅は貸方に記帳することを理解している。	電子記録債権の発生記録がおこなわれたときの処理ができる。	電子記録債権の消滅記録がおこなわれたときの処理ができる。	
電子記録債務についての理解 知識、理解(知識・技能)	電子記録債務勘定は、負債であることを知っていて、発生は貸方、消滅は借方に記帳することを理解している。	電子記録債務の発生記録がおこなわれたときの処理ができる。	電子記録債務の消滅記録がおこなわれたときの処理ができる。	
手形記入帳の作成 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	受取手形記入帳、支払手形記入帳を作成できる。	受取手形記入帳と支払手形記入帳の違いを説明できる。	受取手形記入帳、支払手形記入帳、その他の補助簿から仕訳を導くことができる。	

「クレジット売掛金」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
クレジット売掛金を理解する 知識、理解(知識・技能)	クレジット売掛金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	販売時に手数料を計上する場合の処理ができる。	入金時に手数料を計上する場合の処理ができる。	

「その他の債権・債務」				年 組 番 氏名
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)	
貸付金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	貸付金勘定・手形貸付金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	貸付金と手形貸付金の違いを説明できる。	受取手形と手形貸付金の違いを説明できる。	
借入金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	借入金勘定・手形借入金勘定は負債であることを知っていて、増加は貸方、減少は借方に記帳することを理解している。	借入金と手形借入金の違いを説明できる。	支払手形と手形借入金の違いを説明できる。	
未収入金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	未収入金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	未収入金の仕訳ができる。	未収入金と売掛金の違いが説明できる。	
未払金を理解する 社会的課題に対する知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	未払金勘定は負債であることを知っていて、増加は貸方、減少は借方に記帳することを理解している。	未払金の仕訳ができる。	未払金と買掛金の違いが説明できる。	
前払金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	前払金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	前払金の仕訳ができる。		
前受金を理解する 社会的課題に対する知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	前受金勘定は負債であることを知っていて、増加は貸方、減少は借方に記帳することを理解している。	前受金の仕訳ができる。		
立替金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	立替金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	立替金の仕訳ができる。		
預り金を理解する 社会的課題に対する知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	預り金勘定は負債であることを知っていて、増加は貸方、減少は借方に記帳することを理解している。	預り金の仕訳ができる。		
仮払金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	仮払金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	仮払金の仕訳ができる。		
仮受金を理解する 社会的課題に対する知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	仮受金勘定は負債であることを知っていて、増加は貸方、減少は借方に記帳することを理解している。	仮受金の仕訳ができる。		
差入保証金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	差入保証金勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	差入保証金の仕訳ができる。		
受取商品券を理解する 社会的課題に対する知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	受取商品券勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	受取商品券の仕訳ができる。		

「有形固定資産」		年 組 番 氏名	
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)
有形固定資産を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	有形固定資産の各勘定は資産であることを知っていて、増加は借方、減少は貸方に記帳することを理解している。	有形固定資産とは、どのようなものか知っていて、適切な勘定科目にすることができる。	有形固定資産の取得原価に含まれるものを具体的に言えて、なぜ取得原価に含めるのか考えようとしている。
減価償却を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	なぜ減価償却をする必要があるのか知っていて、減価償却をしない場合との違いを考えようとしている。	定額法による計算、間接法による記帳ができる。 取得原価・残存価額・耐用年数の意味がわかり、説明することができる。	月割り計算ができる。 取得原価と帳簿価額の違いがわかる。 固定資産台帳が作成できる。

「有形固定資産の売却」		年 組 番 氏名	
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)
有形固定資産の売却を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	取得原価と帳簿価額の違いを説明できる。	帳簿価額がわかっている場合の売却時の処理ができる。	帳簿価額を自分で算出する場合の売却時の処理ができる。

「営業費・法定福利費」		年 組 番 氏名	
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)
営業費・法定福利費を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	営業費用と営業外費用の違いがわかり、それぞれの勘定科目を言える。	社会保険料にはどのようなものがあるのか知っていて、法定福利費とは何なのかがわかる。	社会保険料に関する仕訳ができる。

「税金」		年 組 番 氏名	
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)
株式会社に課せられる税金を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	税金の種類を複数言える。	株式会社に課せられる税金を適切な勘定科目にすることができる。	税法上、費用になるものとならないものを分類できる。 費用になる税金の処理ができる。
法人税・住民税および事業税を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 全般的なマネジメント力(思考力・判断力・表現力)	法人税はどのような税金か理解している。	中間申告、決算、確定申告時の処理ができる。	純利益と課税所得の違いを考えようとしている。
消費税を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 全般的なマネジメント力(思考力・判断力・表現力)	消費税はどのような税金か理解している。	税抜方式による仮払い、仮受け、決算、確定申告時の処理ができる。	税込方式による仮払い、仮受け、決算、確定申告時の処理ができる。

「決算」		年 組 番 氏名	
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)
費用の前払い・収益の前受けを理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	期間損益計算の考え方を理解し、前払い・前受けの期間と金額を算出できる。	前払費用勘定は資産、前受収益勘定は負債であることを知っていて、決算時の処理と再振替の処理が適切におこえる。	2通りの消耗品の処理ができる。
費用の未払い・収益の未収を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	期間損益計算の考え方を理解し、未払い・未収の期間と金額を算出できる。	未収収益勘定は資産、未払費用勘定は負債であることを知っていて、決算時の処理と再振替の処理が適切におこえる。	2年目以降の費用・収益の前払・前受・未払・未収の金額が理解できる。 月次決算会社と費用の前払い(別法)の関係が理解できる。
試算表の作成 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)		合計残高試算表が作成できる。	残高試算表の売掛金残高と売掛金明細表、買掛金残高と買掛金明細表の関係が理解できる。
精算表の作成 社会的課題に対する知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	決算修正事項等の処理ができる。	精算表が作成できる。	精算表の推定問題ができる。
帳簿の締め切り 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	費用勘定、収益勘定の振替ができ、各勘定が締め切れる。	純損益の振替ができ、損益勘定が締め切れる。	資産、負債、純資産の各勘定が締め切れる。
損益計算書・貸借対照表の作成 社会的課題に対する知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	損益勘定から損益計算書が、繰越試算表または決算整理後残高試算表から貸借対照表が作成できる。	決算整理前残高試算表から損益計算書と貸借対照表が作成できる。	決算整理前と決算整理後の残高試算表の違いを理解し、その違いを説明できる。

「伝票」		年 組 番 氏名	
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)
3 伝票を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	3 伝票の種類を知っていて、取引をどの伝票に起票すればよいかわかる。	一部現金取引について、二通りの処理の起票ができる。	伝票から取引を推定でき、仕訳に示すことができる。
伝票から総勘定元帳への記入を理解する。 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)		伝票から総勘定元帳への記入ができる。	
伝票の集計・管理 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	仕訳日計表が作成できる。	仕訳日計表から総勘定元帳への転記ができる。	

「株式会社の純資産等」		年 組 番 氏名	
身に付けさせたい力	レベル1 (0～1点)	レベル2 (2～3点)	レベル3 (4～5点)
株式会社の純資産を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 筋道を立て他者に伝える表現力(思考力・判断力・表現力)	株式会社の純資産とは何かを知っていて、説明することができる。		株主資本の項目を知っていて、説明することができる。
株式の発行・増資を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	株式発行(設立・増資)の規定を知って、原則処理ができる。	株式発行の例外処理ができる。	
純損益の処理を理解する 知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力)	純利益が生じたときの処理ができる。	純損失が生じたときの処理ができる。	
剰余金の配当・処分を理解する 社会的課題に対する知識、理解(知識・技能) 論理的な思考力、判断力(思考力・判断力・表現力) 学びに向かう力(主体的に学習に取り組む態度)	剰余金の配当・処分が決議されたときの処理ができる。		利益準備金積立額の算出方法を調べようとしている。